

高島市訪問看護ステーションのこれまでの取組

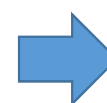
- ・災害時における支援の優先度リストを作成し、定期的なチェックと更新
緊急時の連絡先第1・第2者の確認、必須薬剤、特別管理等
地域別にリストを管理、感染症発生時の支援の優先度を追加
- ・定期的な防災訓練と防災マニュアルの見直し・修正
- ・サービス担当者会議において災害時の避難場所や方法・対応の確認
ケアマネ、本人、家族への防災に対する意識づけ
- ・医療的ケア児者への「災害時対応ノート」の記載支援
- ・訪問看護ステーション連絡協議会による年1回の模擬訓練に参加
地区支部での訓練の取組内容と課題の共有、発電機の管理
- ・事業所BCP(業務継続計画)の作成



地域の方と個別避難計画作成・避難訓練を実施して

訪問看護師が参加することで

- ・本人の病状や身体状況に応じた避難の提案ができる。
- ・訓練時には病状、身体の確認、緊急時の対応が可能である。
- ・家族への支援(家族の荷物や災害時への準備)ができる。



安全
安心

地域との交流により

- ・地域のかかわりが見え、本人、家族を知ってもらえた。
- ・訪問看護の役割を伝え、知ってもらうことができた。



訪問看護師として、地域の特性や課題を理解しながら、個別避難計画作成や避難訓練に協働してくことで、地域の方の安全、安心につながっていく。

